

原子力利用に関する世論調査（2006～2016年度）

（2）クロス集計の結果と考察

Results of the Public Opinion Surveys about Nuclear Energy (2006-2016)

(2) Understanding the Survey Results Using Cross Tabulation

*木村 浩¹, 飯本武志², 富山雅之³, 高嶋隆太⁴, 川上和久⁵,
坂井識顕⁶, 河崎由美子⁶, 船越 誠⁶

¹ PONPO, ² 東京大学, ³ 御徒町台東中学校, ⁴ 東京理科大学, ⁵ 国際医療福祉大学,

⁶ 日本原子力文化財団

本報告では、原子力利用に関する世論調査（2006～2016年度）における一部の項目について、「エネルギー・原子力に関する情報保有量」および「社会へのコミットメント意識の程度」によるクロス集計結果を示し、原子力に対する意見の分布や、エネルギー・原子力に関する情報獲得行動等について考察を行う。

キーワード：世論調査, クロス集計, 情報獲得.

本調査では、いくつかの指標を用意して、クロス集計によって詳しく分析を行っている。本報告では、エネルギーや原子力に関する情報をどの程度知っているかを測定する「エネルギー・原子力に関する情報保有量（単に、情報保有量）」、ボランティアなど社会への貢献活動に対する意識を測定する「社会へのコミットメント意識の程度（単に、社会意識）」によるクロス集計結果を示す。

紙面の制限により、本稿では「エネルギーや原子力に関する情報獲得行動」について、「社会意識」とのクロス集計の結果からわかることを示すに留める。下表に、エネルギーや原子力に関する各種イベントに参加したいかどうかについてのクロス集計結果を示した。これを見ると、全体として6割もの回答者は、これらのイベントには参加したくないと表明しており、社会意識が低いほどそのポイントは高くなる。一方、社会意識が高くなるにつれて、施設見学会、勉強会への参加意欲が向上し、社会意識のもっとも高い層では、講演会のような自分の意見を表明する機会への参加意欲が現れることがわかる。

N	施設見学会	勉強会	工作教室	実験教室	趣味講座	少人数 講演会 双方向	大規模 講演会	コンクール	見学会 バーチャル	講演会 視聴	インターネット パンフレット	インターネット 解説資料	映像資料 インターネット	その他	（%）		
															なし		
全体	1200	18.3	14.3	2.5	7.8	2.1	6.4	7.3	0.3	3.2	3.8	3.2	3.3	6.4	0.4	60.6	
社会意識高	134	30.6	32.8	3.0	15.7	3.7	20.1	20.9	2.2	4.5	6.7	6.7	6.0	12.7	1.5	31.3	
社会意識中	561	23.5	16.8	3.4	10.3	3.2	7.1	9.1	0.2	4.1	4.8	3.7	4.1	7.7	0.2	50.4	
社会意識低	349	10.0	7.2	1.4	2.9	0.3	2.3	1.7	-	2.3	2.3	1.7	1.7	4.6	0.6	76.5	
社会意識無	156	7.7	5.1	1.3	2.6	0.6	1.3	1.9	-	0.6	1.3	1.3	1.3	0.6	-	86.5	
																	10%～20%
																	20%～50%
																	50%～

参考文献

[1]JAERO(2017), 2016年度原子力利用に関する世論調査, http://www.jaero.or.jp/data/01jigyoyou/tyousakenkyu_top.html

*Hiroshi Kimura¹, Takeshi Iimoto², Masayuki Tomiyama³, Ryuta Takashima⁴, Kazuhisa Kawakami⁵, Noriaki Sakai⁶, Yumiko Kawasaki⁶ and Makoto Funakoshi⁶

¹PONPO, ²The Univ. of Tokyo, ³Okachimachi-Taito J.H.S., ⁴Tokyo Uni. of Sci., ⁵IUHW, ⁶JAERO